

このコーナーは市内のさまざまな出来事を紹介するコーナーです。

**奥入瀬溪流の世界自然遺産登録について考える  
奥入瀬溪流エコツーリズムフォーラム開催**

9月26日、奥入瀬溪流の世界自然遺産登録について考える、奥入瀬溪流エコツーリズムフォーラム（NPO法人十和田奥入瀬づくり大学主催）が市民文化センターで開催されました。米田省三市長が「瑠璃色の水、奥入瀬溪流は命を育む水」と題し、基調講演を行いました。次にパネルディスカッションが行われ、青森公立大学教授の佐藤正昭さんがコーディネーターとなり、パネラーとして県ウオーキング協会理事長の中嶋興志久さん、青森放送放送部長の米澤章子さん、全国巨樹・巨木林の会会員高淵英夫さん、十和田西高校3年中村史子さんが、奥入瀬溪流の魅力、自然保護などについて話し合いました。



奥入瀬溪流を次世代に残そうと呼びかけた

**国技「相撲」の美の躍動が浮かび上がりました  
市民を魅了したSUMO AURA展**

9月19日から10月18日までの期間で行われた「SUMO AURA展」では、日本の国技である相撲を現代アートの切り口で展示した企画展です。開催期間中は延べ8,000人の来場者で賑わいました。



大迫力な映像が来場者を魅了しました

**「アルタノヴァ」芸術ボランティアの会主催  
井上あずみコンサート**

9月27日、市立中央病院のエントランスホールにおいて、市民約300人を招き、井上あずみファミリーコンサートが開催されました。井上さんは「となりのトトロ」「魔女の宅急便」などの主題歌8曲を披露し、会場いっぱいに歌声が響き渡り、子どもたちは大きな声で熱唱していました。



楽しく歌を熱唱しました

**食事バランスガイドの活用法を学ぶ  
さわやか健康講座開催**

9月25日、市保健センターで、「料理でわかる! あなたの食事量〜すぐできる! 食事バランスガイドの活用術〜」と題し、さわやか健康講座が開催され、約60人の市民が参加しました。講師の管理栄養士の麦倉淳子さんは、食事バランスガイドのイラストを使い、「バランスの良い食事は病気予防にも役立つので、ぜひ活用してほしい」と呼びかけました。



熱心に聞き入る参加者たち

**東公民館企画で市民を魅了するパネル展  
あなたのぎやらりー・1枚のパネル展**

東公民館のロビーで10月1日から開催されている「あなたのぎやらりー・1枚のパネル展」が市民を楽しませています。10月には絵画グループ「ムーブメント」（県立七戸養護学校の卒業生6人のグループ）による作品展が行われ、11月には、みやこうた塾（清川勝雄代表）による作品約60点を展示しています。みやこうたは「3・8・5」の16音でうたう芸芸です。



「ムーブメント」の皆さんの作品展

**すみだまつりに参加  
十和田市の物産をPRしました**

10月3日・4日の両日、「すみだまつり」（東京都墨田区）で、本市の物産や十和田バラ焼きの販売を通して、十和田市の魅力をPRしました。全国各地の物産が軒を連ね、2日間で29万人の来場者がありました。市は今後、墨田区との地域間交流を推進し、首都圏への販売につなげていきます。



十和田バラ焼きを買い求める市民

**次世代エコカーに理解を深めました  
小山田市長が電気自動車を試乗**

10月9日に市役所敷地内で、小山田久市長が県から借り受けた電気自動車の試乗をしました。これは、青森県のエネルギー関連行政の一環として10月8日から16日までの9日間無料で試用貸し出しを受けたものです。市長は電気自動車の環境性能や動力性能への理解を深めました。その後、職員も試乗を行い、最新のエネルギー技術に関心を寄せていました。



自ら電気自動車を運転する市長

**環境への理解を深めました  
元気! 暮らしの安全・安心展**

10月10日・11日、道の駅とわだで「元気! 暮らしの安全・安心展」が開催されました。会場では消費生活情報パネル展や地上デジタル放送体感・相談ブース、電気自動車展示やリサイクル商品などの紹介が行われ、多くの市民が説明に耳を傾けていました。



環境への理解を深める市民

**地域と連携し、食育活動・家庭教育が評価  
南公民館 優良公民館文部科学大臣表彰受賞**

南公民館が平成21年度の優良公民館文部科学大臣表彰受賞しました。南公民館は防災講座や防犯パトロール支援講座を開き、地域と連携し、連帯感を高める活動に取り組んできました。さらに、平成18年から食育講座や、平成20年から子どもたちの教育を支援する「ゆめ寺子屋」講座などの特長的な事業内容が評価されました。



ゆめ寺子屋英会話教室のようす

**1,159人が初秋の駒街道を駆け抜けました  
駒街道マラソンで選手が健脚を競う**

10月11日、市陸上競技場と官庁街通りを会場に第14回とわだ駒街道マラソン大会が開催されました。大会には小学生から83歳までの1,159人が参加し、さわやかな秋空の下、2kmから10kmの各コースに挑戦しました。2kmの小学生男子の部では、小山田市長の号砲とともに、勢いよく選手がスタートし、家族や沿道の市民の大きな声援を受け、力一杯走っていました。



力いっぱい駆け抜ける選手



市民が快走していました